

実践された内容と成果について

- 1 各市町において、それぞれに特徴ある活動を行うことができた。
活動内容は大きく三つに分類できる。
 - (1) 安全教室等の開催
 - ・交通安全教室 ・救急救命講習会 ・自然災害等に対する研修会
 - (2) 備品、消耗品等の購入、作成配布
 - 災害時の避難対応
 - ・熱中症計 ・大型扇風機
 - ・懐中電灯 ・立入禁止テープ ・安全クッション ・トラロープ
 - 防犯対策
 - ・LED センサーライト トランシーバー 水銀灯ランプ さす又
 - 交通安全対策
 - ・自転車乗車時ヘルメット着用の啓発ポスター、同デザイン紙ファイル配布
 - ・交通安全啓発看板設置
 - ・マグネットサインボード ・ストップマーク ・コーン、コーンバー
 - ・誘導棒 ・ジャンパー ベスト 帽子 腕章 名刺型名札
 - ・ランドセルカバー ・交通安全ステッカー
 - ・除雪用スコップ
 - (3) 感染症予防対策
 - ・非接触型体温計 ・デジタル温湿度計 ・フェイスシールド ・パーテーション
 - ・衛生消耗品 ・手指消毒液 ・携帯熱中症計
 - ・
 - (4) その他
 - ・「水害ハザードマップ」の配布 ・車椅子の購入 ・日傘購入 ・砂飛散防止用シート
 - ・消防用貯水池に危険防止看板設置
 - ・印刷物配付のためのインク、電池等消耗品
- 2 成果
 - 保護者・地域、教職員、児童生徒の安全に対する意識が高まった。
 - 地域、保護者の要望に沿った活動、備品等の購入ができた。
 - 感染症対策の環境が整い、児童生徒の安心・安全な学校づくりに寄与することができた。
 - ・熱中症計の増台で校舎外での使用する際に活用できた。
 - ・通学路や学校駐車場等の安全確保のために役立った。
 - ・配布した「水害ハザードマップ」をもとに家庭で話し合い、防砂際に関する意識が高まるとともに、親子のコミュニケーションも深まった。
 - ・手洗い、手指の消毒の徹底につながった。
 - ・自転車乗車時ヘルメット着用の取組みが進み、学校や家庭でもヘルメット着用推進の動きが見られるようになってきた。着用率も向上している。
 - ・危険回避に役立った。